

学校 教育 目標	【すすんで みんなで れいをつくして がんばりつづけて おもいあって かがやきつづけるすみれっ子】 豊かな人間関係の中で一人ひとりが自分のよさを十分に発揮し、互いに高め合う子を育てます。 ○互いの考えを認め合い、自分の考えを表現し、課題解決に向けて粘り強く取り組むことができますようにします。(知) ○いろいろな人とすすんでかかわり合い、思いやりの気持ちや礼儀を大切にして行動できるようにします。(徳) ○自他の身体を大切に、自ら進んで心と体の健康づくりに取り組むことができますようにします。(体) ○すみれのまちの一員として地域社会の役に立つために行動できるようにします。(公) ○さまざまな人とコミュニケーションをすすんでとり、多様な考え方を尊重できるようにします。(開)				
	学校 概要	創立 45 周年	学校長 吉田 茂樹	副校長 山田 和仁	2 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 3 児童生徒数: 364 人 主な関係校: 中川西中学校

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	自分づくりに関する力 言語能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
		中川西中学校 都筑小学校 荏田小学校 中川西小学校	○つながりの中で、「あいさつをしっかりとる・認め合い、励まし合い、高め合う・自らの課題を見つけ、解決しようとする」子ども ○授業交流を通して、小中一貫カリキュラムの改善を組織的に推進し、共通理解を深めます。 ○生徒指導専任と児童支援専任との連携を強め、児童生徒の問題行動の未然防止に資するようにします。 ○児童と生徒の共同活動を設定し、広く交流活動の可能性を探っていきます。

中期 取組 目標	○いろいろな人との豊かなかかわり合いを通して自分や他者のよさを理解し、自分の思いを表現できる子を育てます。 ・対話的な学習、体験的な学習などを通して、主体的に友達と学び合い、自分の考えを表現し、深めていけるようにします。 ・交流活動や体験活動を重視し、互いに認め合う心や自尊感情を高め、自信をもてるようにします。 ・児童理解に基づいた児童指導を全教職員の共通理解のもとに進め、迅速・正確・丁寧に対応します。 ・学校運営協議会、サポーター協議会、PTA組織を生かし、児童の豊かな教育活動につなげていきます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①自分の考えをもつ場を大切に、主体的に自分の思いを表現し、互いの考えを認め合い、自分の考えを深められるようにする。②課題解決型学習を通して、主体的に課題を追究し、思考・判断力を高めることができるようにする。③スキルタイムの活用やUDの視点での取組を継続・定着させる。
担当 研究部	
豊かな心	①ペア学年を中心に精選して交流活動を行う。②児童委員会や学校保健委員会を通して児童が主体となって課題に取り組んでいけるようにする。③道徳教育や人権教育を充実させ、自分・他者理解や思いやりの心を育む。④幼保小連携を1、5年で、中学校交流を6年生で行う。
担当 指導部	
健やかな体	①大きなけが、病気の予防に向けて安全・保健指導に取り組む。②一校一実践運動を通して、年間通じて体力の向上を図る。③養護教諭、調理員、栄養職員と連携して食育に関する授業を行う。④学校保健委員会を軸に心の健康についてさらに取り組んでいく。
担当 指導部	
安全管理	①年間を通して危険回避の避難訓練・安全指導を行う。②全職員が安全意識をもって見守り・指導を行い、事故の未然防止に努める。③施設面では、定期点検を確実にし、改善箇所については迅速に対応する。体育館床張替を予定。④高リスクの文書、データの管理・取扱い方を徹底する。
担当 指導部	
児童指導	①「学校のきまり」を全教職員で共通理解して指導に当たる。②児童指導は、学年・児童支援専任など複数体制で迅速に事実確認を行い、保護者との連携を密に行う。③毎月の職員会議の中で児童理解の情報共有を行う。④児童が相談しやすくなるよう声掛けをする。複数の窓口を周知する。
担当	
地域連携 学校運営協議会	①学校運営協議会は年間4回の開催とし、日常的教育活動について積極的に委員にかかわっていただくようにする。②サポーター協議会においては、学校・地域コーディネーターとの連携を強めていく。③PTA組織におけるサークル等、特色ある取組を活用し、児童の学習の充実を図る。
担当 指導部	
教育環境整備	①日常的な清掃活動をしっかりと行う。②図書館の環境整備と効果的な運用を一層図る。③校内掲示を工夫し、学びを深める環境を創造する。④ICTの活用推進を図る。プログラミング教育に向けた環境整備や研修を行う。⑤UDの視点で教室環境を整える。
担当 指導部	
	b8
担当	
いじめへの対応	①YPアセスメントシートによる児童の人間関係分析を年2回行う。②再開スタートプログラムを含め、横浜プログラムを実施し、よりよい集団づくりに役立てる。③いじめに対する教職員の理解を深める研修会を行い、情報を共有する。④案件等発生した際にはいじめ防止対策委員会で早急に対応する。
担当 指導部	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①若手リーダーが中心となって月1回の研修を行う。②毎週教務会を行い、次週の確認及び学校経営改善の視点で課題を検討する。③小規模校としての組織運営について業務内容などを検討、改善する。④各研究会等で得た情報を共有していく。(特に新教育課程)⑤業務の効率化を図り、児童に向き合う時間と余裕を確保する。
担当 研究部	